

令和8年度 特別の教育課程の編成の方針について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立鹿島小学校（外9校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の編成の方針に係る公表に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針に係る公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立鹿島小学校	http://www.sopia.or.jp/kasyo/wp/%ef%bc%97%ef%bc%8e%e5%a4%96%e5%9b%bd%e8%aa%9e%e6%b4%bb%e5%8b%95%e3%83%bb%e5%a4%96%e5%9b%bd%e8%aa%9e%e3%81%ae%e5%ad%a6%e7%bf%92

2. 特別の教育課程を開始又は変更した年度（特例の適用開始日）

2007年4月

2018年4月 変更

* 取組の期間

2030年4月まで

3. 特別の教育課程の概要、特別の教育課程を編成する際の各教科等の授業時数

急速なグローバル化の進展の中で、英語力の一層の充実は我が国にとって、極めて重要な問題であり、国民一人一人にとって、異文化理解や異文化コミュニケーションはますます重要になる。その際、国際共通語である英語力の向上は日本の社会にとって不可欠である。これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

4. 地域や学校の特色とその特色を活かして特別の教育課程を編成して教育を行う理由

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2021年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「Colorful Stage KASHIMA～ひとあざやかに ひとつのまちに～」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができ

るグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

5. 実施の効果、課題および方向性

(1) 特別の教育課程の編成・実施の効果と手立て

【実施の効果】

- 1・2年生において英語を導入した特別教育課程を実施した結果、以下の効果があった。
- ・英語やジェスチャーでALTや友達とやり取りする活動を通して、コミュニケーションへの前向きな態度が育った。
- ・名前や好きなものなどを英語やジェスチャーで表現する活動を通して、自己表現力が育まれた。
- ・授業中だけでなく、普段の場面でも英語であいさつをしたり、ALTと簡単な英語での会話を楽しんだりする姿が見られる。
- ・聞く力の向上が見られた。
- ・既習表現を用いて伝えようとする姿や、友達と関わりながら学習に取り組む姿が見られるようになってきた。

【手立て】

- ・授業中の教師やALTの英語の発話量を増やすとともに、少し長めの英語を聞く機会を設け、分からない内容に直面した際の対応テクニックについても指導を行った。
- ・各単元でのパフォーマンステストの実施や、音と文字のルールを取り入れた読み書き指導などを通して、児童が英語を用いてやり取りしたり、自分の考えを表現したりする機会の充実を図ってきた。

(2) 課題の改善のための取組の方向性

- ・4技能を関連付けた言語活動を充実させ、既習表現を活用したやり取りや、自分の考えを伝える活動を積極的に取り入れていく。
- ・音と文字の関係を意識した読み書き指導や、まとまりのある英語を聞く活動を継続し、児童の英語によるコミュニケーション力の向上を図っていく。